

2018年9月14日  
立命館大学

本学から横浜市立大学へ郵送した「遺伝子組換え植物種子」の  
発見・回収にむけたご協力をお願い

本学びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市）から5月中旬に横浜市立大学舞岡キャンパス（横浜市戸塚区）へ郵送した「遺伝子組換え植物種子」《PIP レベル》（シロイヌナズナ形質転換体種子約100粒）が、送付に使用した郵便封筒の一部破損によって、紛失する事故が発生いたしました。6月には記者会見を開催して社会の皆様へ事実関係をお知らせし、本ホームページでも公表いたしました。

同封していた内容物は、漏出防止措置を施した密閉された耐熱性・耐圧性・耐久性の高いポリプロピレン製のチューブ容器（太さ約1cm長さ4cm）に封入され、透明のプラスチック小袋（タテ10cmヨコ6cm）に入ったままの状態です。直ちに、両大学は関係者の協力のもと郵便局への内容物の発見・回収依頼などの対応に取り組み、郵送先の大学では研究所内の清掃箇所、警備室を含めた所内各所の捜索を行いました。発見できておりません。

紛失した種子は、毒性タンパク質を含まないことから、人に対する健康被害はありません。また、内容物については、漏出防止措置を施した密閉された容器に封入されたままの状態です。人為的開封がない限り、種子が容器の外に出て発芽する可能性は低いと考えられます。

遺伝子組換え植物種子が紛失状態にあることで、皆様にご心配、不安をあたえておりますことを深くお詫び申し上げます。本学は、今回の問題を真摯に受け止め、大学として再発防止策の策定とその周知徹底に務めてまいります。

つきましては、種子が入ったチューブ入りの小袋、または同チューブ（下記、写真参照）を発見された場合は、立命館大学安全管理課までご一報いただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。



【連絡先】 立命館大学安全管理課（Tel：077-599-4175）

以上